

六郷特別出張所管内	
人口	男32,619名
	女30,900名
	計63,519名
世帯数	30,142世帯
平成19年4月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)

緊急アピール

六郷地区子ども見守り協議会に先立ち、緊急アピールが行われました。その要旨は地域ぐるみで次のような防犯活動を継続、強化することです。

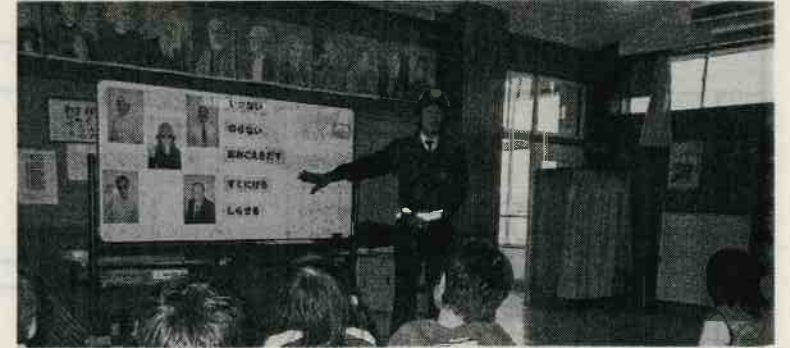
- ・通学路安全マップなどの作成
- ・防犯ブザーの児童への貸与
- ・学校・関係機関等の不審者に関する情報の共用化
- ・「子どもSOSの家」の活用
- ・来訪者への対応の工夫や教職員の対応マニュアルの作成
- ・学校における計画的な防犯教室の実施
- ・防犯パトロール

六郷地区の子どもに関して地域・家庭・学校が連携して地域ぐるみの「子どもの見守り」をはかっていくために、平成18年10月に組織されました。

六郷地区子ども見守り協議会

もうすぐ夏休み
 ようやく新しい環境に慣れた一年生を始め、夏休みで自由な時間が増えると、子どもたちはぐんと行動範囲を広げます。
 子どもたちに目が届かなくなると、犯罪、事故に巻き込まれないかとの親たちの心配がまた増えます。
 子どもを犯罪から守るため、わがまち六郷で取り組んでいることを紹介します。親子で安全について話し合っきっかけにしてください。

子どもを守る



「いかのおすし」の講習会（西六郷小学校セーフティー教室）



犯罪にあわないための約束ごととして「いかのおすし」と覚えておきましょう。

警視庁と東京都教育委員会が危険を避ける標語「きょうはイカのおすし」で子どもたちに防犯を呼びかけています。

警視庁標語
 いかのおすし

きょうはいかのおすし

- きよ＝知らない人や危険な場所からはきよりをとる（つかまれないきより）
- う＝うしろに気をつける
- は＝はやめに帰る
- イカ＝行かない（知らない人にはついて行かない）
- の＝乗らない
- お＝大声をあげる（「助けてー！」と大声を出す）
- す＝すぐ逃げる（あやしいと感じたらすぐ逃げる）
- し＝知らせる（不審者や犯人の特徴などを家の人や警察、学校の人に知らせる）



地域の安全を守るため見守り活動を行う（南六郷二丁目町会）



- 六郷地区子ども見守り協議会
 次の各組織の代表で構成されています。
- 六郷地区自治会連合会
 - 青少年対策六郷地区委員会
 - 区立小学校校長会
 - 区立中学校校長会
 - 区立小学校PTA
 - 区立中学校PTA
 - 民生委員・児童委員保護司会（第五分区）
 - 区立保育園
 - 区立児童館
 - 区立西六郷幼稚園

子どもSOSの家

「子どもSOSの家」と分かるように、道路に面した門、玄関、店舗の扉など、子どもたちからよく見えるところにステッカーを掲示しています。

道路、公園、広場などで痴漢や付きまとい行為などの被害を受けそうになったり、身の危険を感じたりしたときに助けを求めることが出来る緊急の避難所です。また、子どもたちが地域の中で気軽に相談できる場所です。

子どもたちが助けを求めてきたときは、安全を確かめたうえで警察へ通報したり、子どもの自宅や学校へ連絡を取るなど適切な対応を行います。

六郷地区では三三七軒の「子どもSOSの家」が登録されています。(平成18年3月31日現在)



防犯ブザー

大きな声は練習しないとなかなか出せません。そんなとき防犯ブザーを鳴らすことが大声を出す代わりになります。



いざというときすぐ使えるよう、スカートやズボンのつりひもやランドセルなどの手に届く位置につけておくようにしましょう。

声を出す！逃げる！

特にいざというとき明暗を分けるのは、「声を出すこと」と「逃げること」です。

本心に怖い目にあつたとき、子どもは足がすくんで逃げることでできず、声も震えて出せないものです。普段から実際に練習しておきましょう。

西六郷小学校おやじの会

代表 道上 次郎

「おやじの会」は子どもの健全な育成を願って数年前結成されました。現在会員は25名です。西六郷小学校へ通う児童を持つお父さんまたは以前通っていた児童のお父さんで構成されています。結成されたのは数年前ですが、今のような活動が始まったのはちょうど3年前(平成16年度)です。主な活動を紹介します。

「西六小DEキャンプ」

おやじの会の目玉行事で4年生から6年生が夏休みに学校で1泊します。プール、飲茶パーティ、きも試し、ミニ運動会など盛りだくさんのプログラムです。



「西六小DEクリスマス」

全年齢を対象でツリーの飾り付けから始まり、ケーキ作り、ゲーム大会、手品、みんなで歌おう、などで楽しみます。



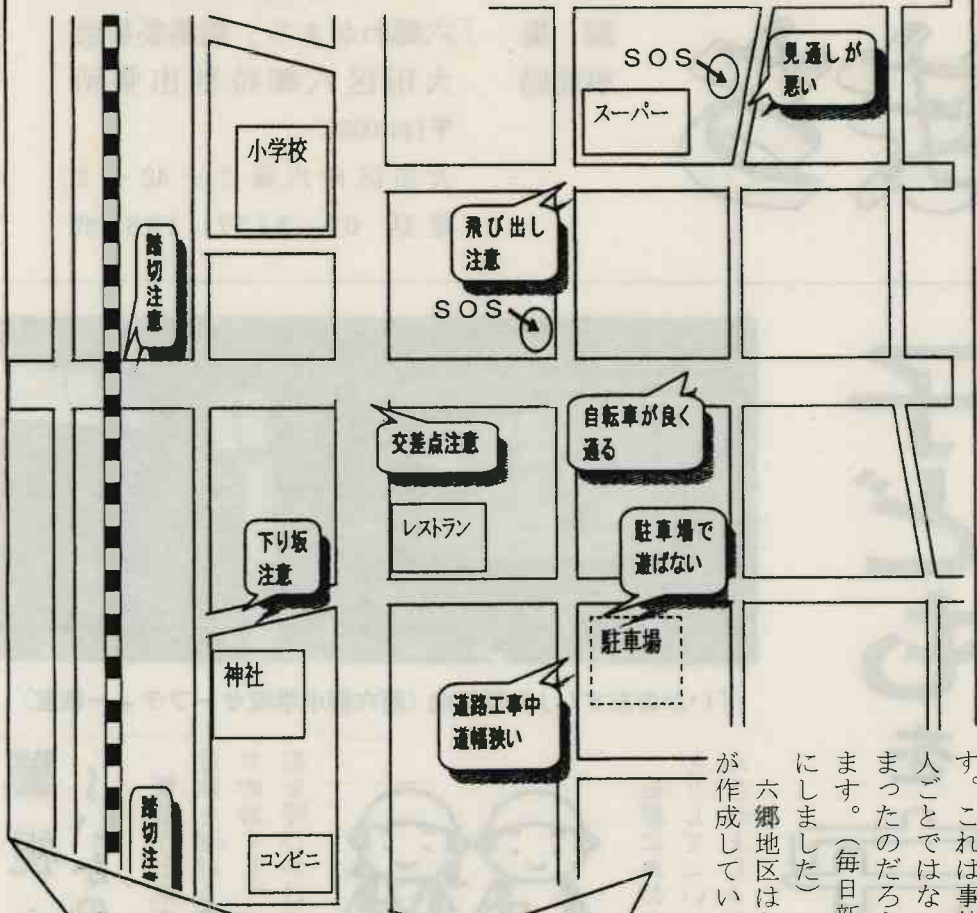
クリスマスの様子

そのほか、PTA・地域行事のお手伝い、月2回の学区内のパトロールを行っています。パトロールではすっかり顔なじみになり、地域の人と挨拶を交わすようになりました。



蒲田警察署の人たちと合同パトロール

通学路安全マップ



通学路周辺の危険な所や、いざという時に逃げ込める場所が書き込まれているのが、通学路安全マップです。危険な所とは、狭い、見通しが悪い、人通りが少ない道路、交通が激しい交差点・道路、倉庫、空家など人が身を隠しやすい場所、駐車場、公園や空地など不特定の人が容易に入りやすい場所です。交番や「子どもSOSの家」は、万一の際に駆け込める場所です。

文部科学省によると一昨年度末現在で全国の公立小学校約二万三千校のうち、9割近い二万六二〇校がマップを作成しているそうです。平成15年度末では一万三四三校だったので、2年でほぼ倍増したことになります。これは事件が相次ぎ各校に人ごとではないという意識が高まったのだろうと分析されています。(毎日新聞の記事を参考にしました)

六郷地区はもちろん全小学校が作成しています。

安全マップをもらったらそのままにせず、親子で話し合い気のついたことを書き加え、自分の家に合ったものを作ると効果的です。

※この地図は実際のものではありません。

「子どもの見守り」なぜ?

犯罪を減らすためには、まず、子どもを一人にしないことです。次に、犯罪を起こしやしい「場所」に注目し、そこに予防策を講じることがもつとも有効であると認識されるようになりました。幼い子どもたちは、自ら身を守る力は持ち合わせていません。危険で「周囲から見えにくい場所」を普段から念頭に置き、地域の大人たちで買い物や犬の散歩の際などでも意識して「見守る」習慣を身につけましょう。

「ご意見およせください」

六郷わがまちへのご意見、取り上げてもらいたいテーマがございましたら、六郷わがまち編集委員会事務局(六郷特別出張所地域振興係)までお知らせください。(電話三七三二・四八八五)